



# 神明中だより

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinmeichu/>

教育目標 創造・鍛錬・共生 校訓 自主・自律

令和2年6月15日

杉並区立神明中学校

杉並区南荻窪2-37-28

## 【学校の役割（世の中やはり、家庭・学校のバランスが大切）】

副校長 大柴 浩一

人と人をつなぐ、大勢の心により所を奪ったウイルスがつくづく憎らしい。卒業式・入学式・学校生活（授業）・部活動（大会）・オリンピックの延期や休業・外出自粛の制限等の報を聞く度、ただならぬ歴史の一コマに立ち会っていると改めて思う。

子供のオンライン学習には気遣いも伴う。「学校のオンライン授業が始まってから、家に自分の居場所がなくなった。家事もしづらく、疲れます。」と母親が話す。インターネットの通信環境がいい居間の机でパソコンを使い、午前10時から午後3時まで授業を受ける。その間、掃除機やテレビの使用を控え、調理も物音を立てないように気を使っているという。

祖父母が孫の相手を引き受ける例も。当初は、注意してもゲームをなかなかやめられない孫にストレスを感じていた。そこで娘と孫と話し合い、時間割を作ることに。時間割ができてからは、勉強と遊びの時間をきちんと分けられるようになった。「褒めていい気分させ、調理や配膳、食器洗いなどを手伝ってもらっています。せっかく一緒に過ごせるので、食育の機会にしたい」と意気込む。

高校2年の孫娘と近所の遊水地を歩くことを朝の日課にした。高校が休校になり、生活リズムが崩れることを心配して提案したという。毎朝2人で40分ほど歩く。「朝日を浴びながら体を動かすと気持ちがいい。何より孫娘がたくさん話してくれるようになった。コロナは嫌だけど、いいこともあります」ちょっとした工夫で、毎日の暮らしが楽しくなることもあったようだ。ほっこりするひと時があってもよいのでは・・・。

保健の「保」という漢字は、「呆」はおむつをした赤ちゃん。それを「人」が抱きあげる姿を示すものだ。さらに「保」から「褒」が生まれている。「衣」を上下に分け、挟み込むと「褒」になる。子を懐に抱いて衣服がふくらんだ様子を表し、そんな愛情あふれる大人の姿が「褒める」の原点だという。頑張りが褒められる日はいつ頃だろうか。新型コロナウイルスの惨禍から自分自身はもとより、周囲の大切な人を守ろうとする努力が続いている。新型コロナウイルスの感染者の数に気持ちの揺れる日々が続く。一日も早い日常への復帰が国民一人一人の行動にかかることに変わりはない。くじけないで、褒められる日を待とう。皆が気持ちを一つに見事、危機を乗り越えた事績を。

この休業期間中、課題の配布、すぐメール配信、学校ホームページでの連絡、動画配信、一斉登校に向けての分散登校等、保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

## 《6月のアルバム》

### 入学式【6月1日（月）】



### 分散登校【6月2日（火）～12日（金）】



### 分散登校（給食開始）



## 【7・8月の予定】

7/ 8（水）～10（金）

期末考査

11（土）土曜授業（3時間）

数検

18（土）土曜授業（3時間）

8/1（土）土曜授業

3（月）～7（金）三者面談

7（金）終業式

8（土）～23（日）夏季休業日

《8月24日（月）始業式》